

月報 401 号～500 号の総目録と索引

「専修大学社会科学研究所月報目録」

(No. 401, 1996 年 11 月～No. 500, 2005 年 2 月)

1996

No. 401 月報 400 号発刊記念号

No. 402 経済学の諸潮流とその評価の観点について

—塩沢由典氏の批判に答えて— 平井 俊顕・野口 旭・川俣 雅弘

1997

No. 403 武漢・“陶行知研究”国際シンポジウム参加報告 斉藤 秋男

No. 404 石器時代の象徴交換試論 加藤 博文

No. 405 占有資本主義論

—現代資本主義理解のために— 石渡 貞雄

No. 406 唯物史観の「公式化」と現代資本主義 石渡 貞雄

No. 407 アフリカの資本主義への一つの道

—ジンバブウェ・新興黒人大農民についての試論— 吉國 恒雄

No. 408 檀国大学・専修大学共同セミナー 日韓関係の現状と将来

Current Situation and Future Tasks of Korean-Japan Relations

Kang, Tae Hoon (姜 太 勲)

The Basic Conditions for Peaceful Relations between Korea and Japan

hideo Soga

Comment on the Prof. Soga's report

Atushi furukawa

「平和のうちに生存する権利」保障の大切さ—檀国大学・交流訪問記—

古川 純

居心地の良さと悪さと—私の内なる韓国—

木幡 文徳

日本の「罪」と反日感情

樋口 淳

儒教文化の意味

石村 修

竹島（独島）問題の機能的解決に向けて

森川 幸一

No. 409 後決め・事後調整の本質

池本 正純

No. 410 ベトナム企業視察報告

I. ベトナム調査報告

1. ベトナム計画投資省とベトナム共産党

儀我壮一郎

	2. ベトナム経済開発戦略・小見	内田 弘
	3. ベトナム経済改革と地域格差問題	福島 義和
	4. ベトナムにおける「工業化・近代化」をめぐる	加藤幸三郎
	5. ベトナムの外資法とFCVの概要	大西 勝明
II. ベトナム印象記		
	1. ベトナム旅行で思ったこと	岡田 和秀
	2. ベトナム企業調査印象記	黒田 彰三
	3. 1997年3月のベトナム縦断雑記	儀我壮一郎
	4. ベトナムの人口政策	広瀬 裕子
	5. ヴェトナムはなぜアメリカに勝ったのか?	三輪 芳郎
	6. ベトナム印象記－「闇」から「光」へ	井上 裕
	7. ベトナムの印象	柴田 弘捷
	8. ベトナム憲法と人間	石村 修
	9. “ベトナム学”断章	新島 新吾
	10. ベトナムの労働者像－それをめぐる一、二の所見－	北川 隆吉
III. 事務局報告		
	1. ベトナム企業視察調査の計画と概要	澤野 徹
	2. ベトナム企業視察調査を終えて	水川 侑
No. 411	航空機産業のグローバル競争	溝田 誠吾
No. 412	<論文>養蚕業＝耕地桑園化と零細耕作農民の動向 ～埼玉県榛沢郡高島村正田家史科の分析を中心に～	高梨 健司
No. 413	職業教育と資格 －ドイツのデュアル・システムを考える－	八林 秀一
No. 414	「小さな」世界企業 －その独自技術の製品・製品技術の絞り込み、海外構想力と経営者－	溝田 誠吾
1998		
No. 415, 416	[聞き書き] 戦後五十余年と一社会学者 －模索と探求の後－	吉澤 芳樹
No. 417	マウル共同体民俗の統合的機能と生産的機能	林 在 海・米地 實
No. 418	台湾大学・専修大学共同セミナー 台湾と日本の現状と問題 台湾大学法学院とのシンポジウムにあたって	隅野 隆徳

	台湾における日台間の国際結婚の現状と問題点	本間 美穂
	台湾人元日本兵戦死傷補償請求事件にみる日本の戦後補償問題	
	－戦後責任と平和憲法の原理からの考察－	内藤 光博
	憲法から「国籍を」考える	石村 修
	日台間の国籍をめぐる法的諸問題	
	－「在台日僑婦人」の国籍問題を中心に－	森川 幸一
No. 419, 420	シンポジウム－日本の経済改革と規制緩和	
	宮本光晴・鶴田俊正・正村公宏（以上報告および討論）	
	吉岡恆明・望月 宏・吉家清次・松田 修（以上質疑）	
	野口 旭（司会）	
No. 421	<研究会報告> 複雑系とシステム論のパラダイム・シフト	谷本 寛治
No. 422	英語の「タウンプランニング」と日本の「都市計画」	黒田 彰三
No. 423	製造業における最近の変化 －1980年から1995年－	水川 侑
No. 424	消費促進策に関する一考察	青木 信治
No. 425	“ケイパビリティ”で考えてみよう	
	－保守主義・リベラリズム・ケイパビリティ－	作間 逸雄
No. 426	【資料紹介】英国の計画政策差新(Planning Policy Guidance Notes)のなか のグリーンベルト(PPG2)と住宅供給(PPG3)	黒田 彰三
1999		
No. 427	ストックからみた日本経済	松田 修
No. 428	戦後生活研究の再検討 －労働者生活研究の方法論序説（その1）－	玉水 俊哲
No. 429	スコットランドの女伯爵とは誰か	
	－『資本論』原畜章における一人物の同定－	望月 清司
No. 430	北京日本学研究センター・専修大学共同セミナー	
	アジア太平洋の平和と安定 －21世紀の日中関係を展望する－	
	北京日本学研究センター合同研究会と中国社会科学院法学研究所 訪問について	古川 純
	日米安全保障協力の現状と中国	森川 幸一
	日本国の中国に対する戦後補償	石村 修
	日中協力してEUにならってAUへ	周維 宏
	日米防衛協力のための指針と中日関係	王 新生

	中日政治摩擦の構図、原因及びその趨勢	金 熙 徳
	33年目の中国訪問	隅野 隆徳
	意見交換のまとめ	古川 純
No. 431	ニュー・ジラランド再訪・・・長引いたブラック・アウト	森 宏
No. 432	女性学授業におけるセクシュアリティ概念 女性学の新しい方向 ー専修大学総合科目「生の諸相」を題材にー	広瀬 裕子
No. 433	1848/49年革命 150周年で祝われたもの	村上 俊介
No. 434	中国華南経済圏視察団報告 中国華南経済圏企業視察を終えて 「華南経済圏進出日本企業の実態調査」の計画と概要 1993年3月の中国華南経済圏の歴史地図 日中経済協力のあるべき姿を考える 中国は普通の国になるかそして、普通の国になったとしたら 阿片戦争について思う 日本国際分業の進展 ーマブチ・モーターの事例ー 日本企業の海外進出状況報告 華南断想：ちぎれ雲 華南経済圏を見て思ったこと 「安価な労働力」と福利厚生費の行方	水川 侑 矢吹 満男 儀我壮一郎 熊野 剛雄 北川 隆吉 加藤幸三郎 大西 勝明 張 浩 川 儀我壮一郎 古川 純 坂本 重雄
No. 435	地域社会の多民族化と「共存」の一位相 ーエスニック・スクールを起点とする都市社会学的実態報告ー	藤原 法子
No. 436	人間の発展としての経済発展	サリム・ラシッド 常行 敏夫
No. 437	バン格拉デッシュと日本 ー専修大学総合科目「世界の中の日本」からの報告ー	サリム・ラシッド 樋口 淳 作間 逸雄
No. 438	ベルクの「風土」をめぐって	
2000		
No. 439	「日本人の食糧消費ーコウホート分析」 報 告：森 宏 コメント：松浦利明、渡部重行、田中正光	

- No. 440, 441 生き立ちの記 一次の世代の友へー 加藤幸三郎
- No. 442 養蚕畑作地帯における絹織物・桑園経営の展開
ー埼玉県大里郡新会村正田家を中心にー 高梨 健司
- No. 443 チューリッヒ婚姻裁判所規則とジュネーブ教会裁判所 堀江 洋文
- No. 444 <研究会報告>グローバリズムをめぐる神話と現実
野口 旭、作間 逸雄、石塚 良次
- No. 445 銀行規制と破綻処理スキーム 山中 尚
- No. 446 RECENT LABOR MARKET PERFORMANCE:
COMPARING THE U. S., EUROPE, AND JAPAN
スコット・フュース、浅見 和彦、八林 秀一
- No. 447 内田義彦ーWhat was he? 福島 新吾
- No. 448 岩田規久『ゼロ金利の経済学』を読んで
ー従来のマクロ理論への不満ー 森 宏
- No. 449 北欧の旅 ー第19回国際歴史学会議に参加してー 加藤幸三郎
- No. 450 文化財保護をめぐるナショナリズムとインターナショナリズム
作間 逸雄、作間美智子

2001

- No. 451 栗木安延教授に聞く
聞き手：泉 武夫、内田 弘、兵藤淳史 司会：高橋祐吉
- No. 452 私の半世紀の記録 麻島 昭一
- No. 453 西岡先生に聞く ー貧困調査から医療問題へー 西岡 幸泰
- No. 454 三谷孝編『中国農村変革と家族・村落・国家ー華北農村調査の記録ー』に就いて
宮坂 宏
- No. 455 米国における貯蓄率の低下（≒消費の「過熱」）をめぐる
ーLiterature Review：BPEAを中心にー 森 宏
- No. 456 二瓶敏教授に聞く ー戦後日本資本主義論争の回顧と展望ー
聞き手：矢吹満男（司会）、泉 武夫
- No. 457, 458
北京大学国際関係学院・学術交流会と「日本学者考察大連」 古川 純
春期合宿集中研究会（北京・大連）報告 黒田 彰三
北京大学との合同研究会での報告を終えて 野口 眞
「国家の枠組みを越えるカーアジアにおける研究教育交流展望」 樋口 淳

- 文柳山法律事務所訪問記 矢澤 昇治
 中国の裁判制度と“打官司”－大連市中級人民法院を訪問して 古川 純
 中国視察記 泉 武夫
 中国商用車産業の現況 水川 侑
 キャノンオフィス設備有限公司における「セル生産方式」 丹沢 安治
 ターリエン（大連）市南郊の旧日本人街の再開発事業にみる中国のリアリティ 福島 義和
 21世紀の中国経済研究の諸側面 儀我壮一郎
 「現代化」の壮大な計画と発展 北川 隆吉
 農と食からいま見た中国 松浦 利明
 旅順口近代戦争遺跡と亀井茲明 加藤幸三郎
 30年ぶりの中国 栗木 安延
 2001年3月の北京・大連・旅順 儀我壮一郎
 百聞は一見に如かず 孟 祥 傑
 坂本重雄所員の急逝を悼む 古川 純
- No. 459 花岡事件訴訟和解の歴史的・法的意義
 「花岡事件」戦後補償請求訴訟の和解と研究 古川 純
 花岡事件の周辺 石村 修
 花岡事件和解研究のために 新美 隆
 戦後補償裁判における花岡事件訴訟和解の意義 内藤 光博
- No. 460 THE CRISIS OF INTERNATIONAL RELATIONS THEORY:
 EXPLAINING THE RISE AND FALL OF THE EUROPEAN
 IMPERIAL SYSTEM
 エドワード・コロジョイ
- No. 461 東アジア・太平洋地域の戦略環境と同盟関係 一日豪の比較を中心に－ 佐島 直子
- No. 462 戦前期三井物産の財務部門の機能 麻島 昭一
- 2002**
- No. 463 TRAINING BETTER ECONOMISTS : A note on teaching
 スティーヴン・リム
- No. 464 日本の植民地支配と三・一独立運動（1）－判例の収集と分析－
 開会の挨拶 古川 純、姜求哲、笹川紀勝

- シンポジウム第Ⅰ部－日本側共同研究者の報告
司会 内藤光博
- シンポジウム第Ⅱ部－韓国側共同研究者の報告
司会 林 慶澤
- 閉会の辞 笹川紀勝
- No. 465 日本植民地支配と三・一独立運動（2・完）－判例の収集と分析－
開会の挨拶 古川 純、姜求哲、笹川紀勝
シンポジウム第Ⅰ部－日本側共同研究者の報告
司会 内藤光博
シンポジウム第Ⅱ部－韓国側共同研究者の報告
司会 林 慶澤
閉会の辞 笹川紀勝
- No. 466 昭和戦前期の三井物産財務部門の人的側面 麻島 昭一
- No. 467 IT/グローバリゼーション下の長野県経済
－2001年度夏期実態調査報告にかえて－ 宮崎 晃巨
- No. 468 19世紀フランスの企業内福利制度に関する考察 斎藤 佳史
- No. 469 <定例研究会>アメリカの「アフガン戦争と日本」
報告者 本田雅和
討論者 佐島直子、内藤光博
司会 野口眞
- No.470 ASIANS, AFRICANS AND SECTORAL SPECIALISATION:
THOUGHTS ON THE SECOND KANYA DEBATE
Paul Vandenberg
- No. 471 2001年度春季合宿研究報告会－地域通貨・第三セクター視察－
Ⅰ. 専修大学社会科学研究所 2001年度春季合宿研究会報告 黒田 彰三
Ⅱ. 地域通貨とコミュニティービジネス 内山 哲朗
Ⅲ. 地域通貨をめぐる感想 二瓶 敏
Ⅳ. エコマネーと近江 加藤幸三郎
- No. 472 <定例研究会>古典国際法の時代における日韓の旧条約(1904~1910)
報告者：笹川紀勝
司会者：内藤光博
- No. 473 O. J. シンプソンの「無罪推定」－人種対立と陪審員制度 森 宏

- No. 474 昭和電工の企業再建整備の考察 麻島 昭一
- 2003**
- No. 475 商品の「二要因」論の論理 川崎 誠
- No. 476 Trade Liberalisation and Rural Poverty in asia
Anna Strutt , Steven Lim
- No. 477 <定例研究会>中国行政法の発展と課題
報告者：呂艶濱
司 会：古川 純
- No. 478 体験戦後史 —1945～1947— 福島 新吾
- No. 479 2002 年度夏期合宿集中研究会報告—山形県長井市実態調査—
「日記」と「長井市の分析」 黒田 彰三
現代秋田の産業構造・金融構造の特質—山形県と対比して— 加藤幸三郎
進む産業空洞化、対抗は可能か—山形県調査を中心に— 黒瀬 直宏
「環境型社会」の射程—地域の自立と市場経済— 渡部 重行
野口眞所員追悼文
追悼—野口眞先生— 柴田 弘捷
野口眞所員の逝去を悼む 古川 純
未完の意志 石塚 良次
野口眞さんのこどもぶり 宮寄 晃巨
野口眞さんが遺した物 内田 弘
- No. 480 鉄鋼業における産業組織と再編 水川 侑
- No. 481 Road Congestion Charging in London Devid Foot
- No. 482 雲南省麗江・昆明視察団報告
I. 団長報告
雲南調査と雲南大学学術交流会
—春季海外研究視察団の成果と今後の交流— 古川 純
II. 雲南視察の経緯と概要
2002 年度春期集中海外合宿調査「経過報告」 黒田 彰三
III. 雲南大学学術交流会報告
中国の西部大開発について 張 薦 華
現代日本経済の低迷と経済政策の失敗 田中 隆之
IT/グローバリゼーション下の東アジア経済 宮寄 晃巨

IV. 少数民族問題調査報告		
	中国の少数民族問題の諸側面	儀我壯一郎
	雲南省における少数民族と宗教	北川 隆吉
	雲南省の少数民族について	加藤幸三郎
	雲南省の少数民族について—陸偉東先生の講演にふれて—	古川 純
	(資料) 中国雲南省の少数民族についての話し	陸 偉 東
	雲南省の少数民族政策の印象	鐘ヶ江晴彦
V. 西部大開発問題調査報告		
	再説・「発展」と「落差」と	井上 裕
	昆明国家経済技術開発区視察報告	平尾 光司
	雲南経済開発の過去と現在	内田 弘
	西部大開発問題調査報告	黒田 彰三
	「西部大開発」の背景・現状・問題点	原田 博夫
VI. 雲南印象記および随想		
	中国雲南の旅によせて	松浦 利明
	雲南調査記	殿村 晋一
	雲南紀行	泉 武夫
	雲南雑記	柴田 弘捷
No. 483	「労働の二重性」論の論理	川崎 誠
No. 484	違反行為別交通事故と違反取締りに関する都道府県別比較研究 —平成13年交通事故統計による分析—	真殿 誠志
No. 485	「まちづくり指針」の提案 —Planning Policy Guidance Note 1 (General Policy and Principles)を中心として—	黒田 彰三
No. 486	社会科学としての政治研究—1947～54	福島 新吾
2004		
No. 487	JAPAN'S DE-INDUSTRIALIZATION : Is China a Threat? National Security による「外国人」の権利制限 —イギリス1998年人権法の試練—	Steven Lim 佐藤 潤一
No. 488	私と科学史技術史と専修大学など —私と体験・戦後史—	黒岩 俊郎
No. 489	シンポジウム「野口理論の可能性」特集号 カレツキ・モデルの合意をめぐって	

	－「カレツキ＝野口理論」の可能性とその批判的継承－	栗田 康之
	野口眞氏の間接理論 ー野口・横川論争を中心にー	横川 信治
	「中間理論」の意義と課題 ー野口眞氏の所説をめぐってー	河村 哲二
	野口眞氏の東アジア経済研究	平川 均
No. 490	「簡単な価値形態」の論理（その1）	川崎 誠
No. 491	アメリカの田園都市ラドバーン訪問記	黒田 彰三
No. 492	住民移転の社会的インパクト評価	
	ー中国雲南省昆明市上水道事業の事例ー	施 錦 芳
No. 493	戦前期信託会社に対する大蔵省の監督指導と検査	
	ー虎屋信託会社の事例を中心としてー	麻島 昭一
No. 494	1990年代末以降の中国司法の人的力量の向上	高見 澤磨
No. 495, 496	2003年度合宿研究会報告 夏期：松本・伊那 春期：三重県	
	2003年度専修大学社会科学研究所夏期合宿研究会（松本・伊那）概要	村上 俊介
	南信の思い出	加藤幸三郎
	長野県経済の現状 ー産業集積の特徴とその変容ー	宮寄 晃巨
	2003年度専修大学社会科学研究所春期合宿研究会（三重県）概要	村上 俊介
	ニュージーランドの「改革」と三重県	佐島 直子
	三重県北部の巨大工業・地域開発の意味	
	ー検証のための推論的メモー	北川 隆吉
	企業進出と地域変容ーSHARP 亀山工場の建設・稼働と三重県亀山市ー	柴田 弘捷
	シャープ（株） 亀山工場の立地と地方自治体の思惑	福島 義和
	三重の地ビール	水川 侑
	ノリタケ伊勢電子の発展史 ー研究開発型ベンチャー企業の軌跡ー	平尾 光司
	伊勢商人について	平尾 光司
No. 497	竹森俊平『経済論戦は甦る』を読んで	
	ー「デフレとは“物価”下落と同じか？ー	森 宏
No. 498	日本の製鉄技術史と産業遺産	黒岩 俊郎
No. 499	民間航空機産業のグローバル「多層」ネットワーク	溝田 誠吾
No.500	月報 500号発刊記念号	